

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

Communication & Voluntary



特集

みんなが主役! 地域共生のまちづくり
“いのち”“人とのつながり”の
大切さを地域へ伝えていく

すみっこ〜みんなつながる場所〜

- 5 地域とつながり社会を学ぶ、
学生たちの卒業研究
大阪成蹊短期大学 幼児教育学科
- 6 ボラ基金交付団体へ突撃取材
『対話』で寄り添い、温かな心のケアを
大阪「ほっ!と相談」第2実行委員会





対面講座で新米パパたちの、育児テクニックの向上をサポート



地域共生のまちづくり

“いのち”“人とのつながり”の 大切さを地域へ伝えていく

すみっこ～みんなつながる場所～

『すみっこ～みんなつながる場所～』（以下、すみっこ）は、現役で活躍している助産師たちが、命の尊さを啓発しながら、誰もが孤立せずに安心して出産・育児等ができる地域をめざして活動している団体です。

メンバーたちは、助産師としてこれまで経験したなかで見て、感じて、体験したことを、出前講座などで、子どもたちの年齢に合わせて分かりやすく伝えていきます。また、誰もが多様な性を理解しながら子育てに関わり、「みんなが幸せな人生を生きているように」をモットーに、こどもたちや、こどもたちを支える人たちの健やかな成長を願って実施している取組みについて紹介します。

地域の中で人に寄り添い
助産師ならではの
知識と経験を活かして



『すみっこ』の活動は、『大阪府助産師会』が住吉区から受託したライフプラン支援事業に端を発します。この事業は、区内の中学生に向けて、「性・生教育」「自分と家族・社会との関係性や将来の



生き方」などについて周知・啓発を行っていますでしたが、2022年に事業が終了。しかし、こどもたちが結婚・妊娠・出産・子育て等についてのライフデザインを希望どおり描くためにも、取組みは必要であると考えた有志の助産師が集まり、翌2023年に任意団体として『すみっこ』を設立。現在は助産師11人で、大阪市住吉区・住之江区を拠点に、講座の開催や気軽に相談できる場づくりを進めています。



地域へ出向いて、親子参加型の講座を実施

「こどもたちが予期せぬ妊娠や性感染症の予防、出産・育児等について学ぶことで、将来、自ら人生を選んで進むことのできる環境を地域全体で育むこと」

それが、将来的には母子の支援にもつながり、ひいては地域全体の良い未来につながると思うんです」と、想いを語ってくれたのは、現在、『すみっこ』で中心となって活動している園田秋子さん（以下、園田さん）と篠原博美さん（以下、篠原さん）。

園田さん、篠原さんともに病院の助産師として勤務する傍ら、1件ずつ家庭を訪ねての『赤ちゃん訪問』も行っており、地域で子育てに悩む親に寄り添う役目も担っています。また、地域での活動だからこそ、病院にいたるだけでは分らない課題の早期発見や、病院よりも広い視野での支援が可能であると教えてくれました。



学校の先生やPTAの人たちへ向けて、「性・カラダ・ココロ～こどもたちを守る方法～」の講座を実施

「病院ではさまざまな悩みや不安を抱えている妊婦さんと関わるけれど、退院するとほとんど関わりが無くなってしまうんです。そんなお母さんたちを地域につなげ、そしてさまざまな方向から支援していきたくて、今の活動をしているんです」と、園田さんはこやかに話してくれました。

「ココロとカラダについて こどもの頃から学ぶ大切さ」

小学生の頃から自分のスマートフォンを持つことが当たり前となりつつある現代。単語を1つ検索するだけで、正しい情報から誤った情報までさまざまな情報を得ることができてしまいます。そして、それらをこどもたちが判断し、取捨選択していくことは決して簡単ではありません。

そこで、『すみっこ』では、住吉区・住之江区内の幼稚園や小・中学校などに出向き、助産師ならではの専門的な知見から包括的性教育の講座を実施。包括的性教育とは、生命の誕生に至るまでの過程や成長に伴って起こる心や体の変化を学習。さらに、多様な性や予期せぬ妊娠、性感染症の予防などを理解し、出産等の将来のライフプランを自ら描くことのできる人生をめざすための教育です。

また、講座ではレクリエーションや寸劇を織り交ぜながら、世代ごとに合わせて、分かりやすく伝えることを大事にしています。実際に講座を受けたこどもたちからも、「学校の先生や親からは教えてもらっていないことを学べてよかった」「オブラートに包まず、ストレートに教えてくれたから理解できた」との声が。他にも、「自分は周りとは違って普通じゃないと思っていたけれど、講座を受けて、それでもいいと思えるようになりました。これからはもっと前向きに生きていきます」といった声も多く聞かれています。

「実際、今の社会ではLGBTQや性



実演を交えながら、こどもたちへ“いのち”の力強さを伝えます

的マイノリティーに対して、周囲から理解を得られず、生きづらさを感じている人は多くいます。また、それは大人に限ったことではありません。みんなそれぞれ悩みはあるだろうけど、「あなたはあなただよ」と言えるように、そして、自分らしさを尊重し、これから進む道をこどもたち自身で選択できるようにサポートしていきたいんです」と、園田さん。



プレパパ講座により、パパ同士の絆も深まります



沐浴のプロフェッショナルをめざして

関係や環境づくりを大切に 地域でこどもを育てていく

『すみっこ』は、妊婦やその家族が抱えている不安を打ち明けられる場所が少なかったり、出産や子育てをきつかけに、友人などの身近な人たちとの「コミュニケーション」が希薄化し、孤独を感じる人が多くいることに課題を感じています。そこで、それぞれが思い描く出産や育児に近づけるよう、地域でのプレパパ・ママ講座やパパの妊婦体験、パパと赤

ちゃんのお出かけ会などのイベントも実施。親になる人やそれを支える人とともに、こどもたちの健やかな成長について一緒に考えていくことを大切にしてきました。

「子育てというのは、1人で悩みすぎないように誰かに相談しながら、母子・父子ともに良好な関係を作っていくことが大切なんです。なんでも自分だけで頑張るのではなく、地域や周りにある情報や、自分たちのような助産師を上手に使うってほしいんです」と、篠原さん。

近年はSNS等の発展により、他人のこどもと自分のこどもを比べてしまい、「あの子是可以るのに、なんでうちの子はできないの」と、不安に感じてしまう人も多いといいます。また、専門職である助産師や産婦人科医の見解よりもSNSの情報を信じてしまう人が増えて、専門職の見解が負けてしまうこともあるそう。

『すみっこ』が実施している対面での講座・教室などの場合は、親同士で関係を築けたり、悩みを共感し合えたり、助産師の助言を持ち帰れるなど、さまざまなかたちを感じてもらえると思います。また、SNS等の情報を鵜呑みにするのではなく、専門職である私たちにも気兼ねなく相談してほしいんです。そんな相談できる関係・環境を大切にしながら、



お話を聞かせていただいた、篠原さん(左)と園田さん(右)

「みんな違って当たり前であることを伝えていきたいんです」と、園田さん。

命の大切さに触れてきたからこそ、生きていく力はあるが持っているというメッセージを伝えながら活動している『すみっこ』。誰もが幸せに安心して暮らしていける地域をめざして。また、地域全体でこどもたちを支え、支えられたこどもたちが次の世代を支えていくことを願いながら、『すみっこ』の活動はこれからも続いています。

すみっこ～みんなつながる場所～

<https://sumikko100365.jimdofree.com/>

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どもの明るい笑顔を力にして
私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

「保険会社は、紙を多く使う仕事だから木を地球に返そう」
と始めた運動でした。だけど

そんな単純な話ではなかった。

インドネシア・バリヤンで知ったことは「森林は地元の人たちが、生きるために仕方がなく
木を切っていたという事実」。「植木に加えて、果樹も育て果実を農民の新しい収入源にする」
というプロジェクトをはじめよう。人と森、生きものが共に生きる場所を取り戻そう。
「植木に木の本数」「面積」といった数値だけでは本当の意味で熱帯林は再生しません。
地域の人々と手を取り合って考えた時間が、明日の地球環境を再生させる。
三井住友海上は、まだまだ勉強中です。

三井住友海上は、生物多様性の保全活動をすすめています。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上



地域とつながり社会を学ぶ、学生たちの卒業研究

大阪成蹊短期大学 幼児教育学科



学外に飛び出して 地域から社会を学ぼう

大阪成蹊短期大学の幼児教育学科では、2024年7月～11月に、2年生たちの卒業研究の一環として、学外での社会・地域貢献活動を行いました。

活動に参加したのは、鈴木大介准教授（以下、鈴木先生）のゼミに所属する、社会活動グループの学生11人です。

①大学のある東淀川区の下新庄地域、②大阪市内の他地域、で各区の社会福祉協議会や地域団体等の協力を得て、20件の活動プログラムが実現。学生たちは、①では、こども食堂や子育てサロン、高齢者食事サービス、共同募金、地域のだんじり祭りなど、



地域の「だんじり祭り」には、学生全員で参加

②では、障がい者や在住外国人との交流イベント、フリースクールなど、可能な限り多くの活動に取り組みました。

「社会の中で活動し、学生たちは、地域の人たちの目に見えない尽力を実感できたと思います。また、皆さんに喜んでいただけ、自分たちの力が発揮できることにも気づけたのではないでしょう」と、鈴木先生。

参加した学生たちも「自治会の人に名前を覚えてもらえた」「手話で自分の名前を伝えられるようになった」「今度は自分の住む町で、こども食堂に参加したい」と、いきいきとした表情で話してくれました。

※準備から力を注いで フードドライブにも挑戦

さらに学生たちは自主運営活動として、学内でのフードドライブにも取り組みました。チラシやパネルを制作し、大学近隣の町会に周知をお願いするとともに、学内のさまざまな場所に掲示。実施にあたっては、授



寄付食品を受け取る学生たち

業の合間をぬって交代で受付を担当しました。

3日間のフードドライブでは、近隣住民や大学の教職員、学生たちから、ペットボトル飲料をはじめ、米やインスタント麺、お菓子など、設置したコンテナ9個分（377点）の食品の寄付が集まった食品は後日、東淀川区社会福祉協議会を通じて、区内の支援を必要とする家庭へ渡されます。

「今回の一連の活動が、学生の地域活動に対するハードルを低くするとともに、将来、各々の地域に関わるこ



フードドライブでは、オレンジリボン（こども虐待防止）の啓発も実施

のできる基盤になります。卒業という区切りがあるため、学生たちは一つの地域に継続的に関わることは難しいと思いますが、代を重ねながら関わることで、地域と若者がつながり続けていけばいいなと思っています」と、鈴木先生。

学生たちと地域のつながりは、これからさらに時間をかけながら、ゆっくりと深まっていくのではないのでしょうか。

大阪成蹊短期大学

TEL:06-6829-2600(代表) FAX:06-6829-2597(代表)
<https://tandai.osaka-seikei.jp/>

令和6年度大阪市ボランティア活動振興基金 活動支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題のために開設した居場所の、継続的な運営を目的とした事業の支援

『対話』で寄り添い、温かな心のケアを

大阪「ほっ!と相談」第2実行委員会

『大阪「ほっ!と相談」第2実行委員会』(以下、ほっ!と相談)では、阿倍野区『あべのハルカス近鉄本店』内の『街ステーション』で、精神対話士による無料相談を行っています。精神対話士とは、

メンタルケアの専門的知識と温かな対話によって精神的支援を行う心理職で、大阪在住の有志たちによって活動がスタートしました。

「当初は3月、9月に無料相談を行っていましたが、相談のニーズが多く、現在は月に一度を目標に実施しています」と、代表の岡林薫さん。話を聴かせても

らっているという気持ちを大切に、相談者に寄り添い、心の中の不安をすべて吐き出してもらえるように心がけていると話します。

相談に訪れる人は、受験や友人関係に不安を感じている人、独り住まいや家族問題で生きづらさを抱えている人などさまざまで、相談員たちは、個々のペースで時間をかけて一人ひとりの声に耳を傾けます。

「お話を聴き終わった後は、皆さんとても晴れやかな表情になられて、私たちも元気をもらえます」と、相談員の皆さん。心のケアにとって対話の力はとても大きく、『ほっ!と相談』という場を、もっと多くの人に活用してもらいたいと話してくれました。

※一般財団法人メンタルケア協会が、養成講座(基礎・実践課程)を修了後、選考試験に合格した人のみに認定する民間資格。

大阪「ほっ!と相談」第2実行委員会
TEL:080-3030-1117(担当:岡林)
一般財団法人メンタルケア協会
<https://www.mental-care.jp>



相談員として活動する、精神対話士の皆さん



地域に貢献しながら
みんなで楽しく作品づくりを

手芸ボランティア はなみずき

『手芸ボランティア はなみずき』は、およそ20年前、東成区内の手芸好きの人たちが集まって活動をスタートしました。現在のメンバーは8人で、毎月第2・第4月曜日の午後が活動日です。

「みんなでワイワイおしゃべりしながら、気が付いたら作品が出来上がっていたりするんですよ」と、代表の恵比須道子さん。可愛いアップリケの付いたクッションや、カラフルなパッチワークのバッグ、ポーチなど、区内のイベントに向けて制作したさまざま

な作品を見せてくれました。

また、子ども子育てプラザを利用する人たちからリクエストを受けて、布絵本や人形用の布団セット、着せ替え用の洋服などを制作して寄贈することも。さらに高齢者を対象とした集いの場では、12年間にわたって干支をモチーフにしたタペストリー作りの指導を行ってきました。



いつも元気で笑顔が絶えない、メンバーの皆さん

「みんなで、今度はどんなものを作ろうか?と話していると、いろんなアイデアが出てくるんです」と、メンバーの皆さん。無理せず、楽しく過ごせる場所だからこそ、長い間活動を続けてこれたのだと話します。そしてこれからも、たくさんの方のリクエストに応えながら、さまざまなおもしろいものを作っていきたいと素敵な笑顔を見せてくれました。

東成区ボランティア・市民活動センター
TEL: 06-6977-6336 FAX:06-6977-6339
<http://www.higashinarikushakyo.jp/volunteer/>



社会全体でこどもを支える仕組み

大阪市社会福祉協議会 地域こども支援ネットワーク事業の取組み

こどもに関する課題を「他人事」ではなく、一人ひとりが「我が事」と捉え、地域住民と社協、地域団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、企業・団体などが一体となって、こどもの食や学習の支援をはじめ、こどもたちが身近に集うことができる居場所づくりを推進しています。

◇活動者や応援者のネットワークづくり

●地域こども支援団体連絡会

開催日：偶数月の第3金曜日 午前10時～正午

●区域のネットワークとの連携

◇企業や社会福祉施設の協力による物資提供

●こども支援団体への物資提供の調整

◇企業等の協力による、交流イベントや体験活動

企業等の協力により、様々な世代とふれあう交流イベントや、企業の強みを活かした職業体験活動などを実施し、こどもの文化的な活動や将来の夢や目標を持つことを応援しています。

◇活動拠点や活動者の拡充

●こどもの居場所づくりサポート講座

●こども支援活動に関する相談支援

◇こども支援活動の啓発や広報活動

●啓発シンポジウムの開催

●ホームページでの情報発信

ホームページは
こちらから



カードゲームで遊ぶ、夕食前のコマ

『一般社団法人こもれび』では、「ひとりぼっちをつくらない」という理念のもと、こどもたちへのさまざまな取組みを行っています。そのうちの1つが、ケア付きこども食堂「夕刻の場」です。『いるどうべ』とはフランス語で『平和な場所』を意味しており、どんなこどもも自分らしく居られる、安心できる場所となることをめざしています。

活動においてはバディ制を取り入れます。食事を終えたこどもたちは、年に1回開催している文化祭で披露する歌を練習しました。

安心できる居場所のできる大人とともに「おなか」も「こころ」も満たしたこどもたちは、満足げな表情で帰っていきました。

記事作成：衛藤風沙、後藤花
倫、榎原慶美、澤田優梨、高部
愛歌（美習生）

一般社団法人 こもれび

電話：06-4394-8697

メール：info@kmrb.jp

ひとりぼっちをつくらない

一般社団法人こもれび「夕刻の場」(西区)

おいでよ！

地域のこどもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる「こども」の居場所づくりの取組みをご紹介します。



体験の格差が与えるこどもたちへの 影響について考える!

体験や経験を通じて、こどもたちが“社会を生き抜く力”
“豊かな人間性”を育むために

わたしたちに
何ができるのか
地域全体で一緒に
考えてみませんか?

令和7年

日時

2 | 8 土

参加費

無料

13:00~16:00

(受付は12:30から)

会場

大阪府教育会館たかつガーデン 8階
(大阪市天王寺区東高津町7-11)

定員

200人(先着順)

対象

こどもの居場所活動に関心のある人

申込み

令和7年2月2日(日)までに申込みフォーム
またはFAX(06-6765-5618)で
お申し込みください

申込フォーム



主催

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター

基調講演

徳田 真彦 氏

(大阪体育大学 スポーツ科学部 講師)



パネルディスカッション

コーディネーター 石田 易司 氏

(桃山学院大学 名誉教授、大阪府キャンプ協会 副会長)

パネリスト 西峯 圭子 氏

(こども班会「コペルくん」)

藤本 真帆 氏

(公益財団法人 住吉隣保事業推進協会)

目崎 敦也 氏

(NPO法人 Unity)

アドバイザー 徳田 真彦 氏

(大阪体育大学 スポーツ科学部 講師)

問合せ

TEL 06-6765-4041

E-mail kodomo@osaka-sishakyo.jp

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

③第32期 緑のふるさと協力隊募集

特定非営利活動法人 地球緑化センター

<http://www.n-gec.org/index.html>

わたし×地域=あなたが変わる1年間。緑のふるさと協力隊として、2025年4月から1年間、農山村で社会貢献活動に取り組む参加者を募集します。

活動期間 2025/4/4(金)~2026/3/15(日)

場 所 全国20市町村(うち1か所に1年間派遣されます)

人数・条件 18歳から概ね45歳までの健康な人、期間を通じて現住所を離れて活動できる人、普通自動車免許を持っている人(MT推奨) 定員:20名程度

申込方法 TEL・FAX・Eメール・HP・郵便 締切:12/20(金)

問合せ▶ 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-3 金谷ビル201
TEL/03-5542-0131 FAX/03-5542-0136
Eメール furusato@n-gec.org



①第32回 OWFボランティア募集

ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

<https://onefes.net/>

西日本最大級の国際交流のお祭りで、一緒に活動していただけるボランティアを募集します。今年のキャッチフレーズは“今こそ想う みんなのいのち”です。

日 程 2/8(土)・2/9(日) 8:30~17:00

場 所 梅田スカイビル タワーウエスト ステラホール(北区大淀中1-1-88)
JR[大阪]駅から徒歩7分
阪急[大阪梅田]駅から徒歩9分

人数・条件 高校生または16歳以上で事前説明会に参加できる方 定員:約200人

申込方法 HP 締切:1/5(日)

問合せ▶ TEL/06-6777-1039
Eメール onefes.volunteer@onefes.net



④小(高学年)・中・高・大学生 弦楽器募集

福祉の管弦楽団まごころ

<http://www.orch-magokoro.com/>

日本で最初に生まれたボランティア専門の合奏団で社会体験にチャレンジを!!
…「青のオーケストラ」ファン、この指と〜まれ♪

日 程 日曜日13:00~16:30(月に2回程度、出欠や参加時間帯は自由です)

場 所 大阪市立都島区民センター(都島区中野町2-16-25)

人数・条件 まずはご見学をいろんなジャンルの合奏に参加できる程度の方。
ご父兄見守り同伴にて例会参加OK。譜面台はご持参ください。
参加費:小・中学生300円、その他500円(ご見学の時は不要)
※進学・求職に必要な“活動証明書”を発行しています。

申込方法 Eメール・HP

問合せ▶ Eメール magokoro@gold.ocn.ne.jp(担当:仲川)



②こどもサポートボランティア募集

合同会社 yorimado

<http://yorimado.hp.peraichi.com>

発達障がいをもつこどもたちのサポートをお手伝いください。遊んだり、お食事したり、一緒にしていただければませんか?

日 程 ご都合の良い日をご相談ください
7:00~9:00、16:00~21:00の可能な時間

場 所 しょーとすてい(yorimado(阿倍野区1-4-4)
地下鉄[昭和町]駅から徒歩3分
地下鉄[文の里]駅から徒歩3分

人数・条件 どなたでも(学生さん大歓迎です)
交通費、食事あり

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/070-9102-4190
Eメール yorimado@gmail.com



ボランティア活動を
長く続ける

5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

- Point 1 興味や関心がある事からはじめよう!
- Point 2 活動は余裕をもって、無理をしない!
- Point 3 約束やルールは必ず守ろう!
- Point 4 相手や関係者の立場を尊重しよう!
- Point 5 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



⑨不登校 親の会を開きます

フラワーズ

<https://flowers590.jimdo.com/>

不登校、うちの子だけじゃない。12年の活動で集めた、様々な情報があります。詳しくはHP「不登校 親の会 フラワーズ」をご覧ください。

日程 1/6(月)、1/20(月) 各日10:00～12:00

場所 西成区社会福祉協議会(西成区岸里1-5-20 西成区役所8階)
地下鉄「岸里」駅すぐ 地下鉄・南海「天下茶屋」駅から徒歩5分

人数・条件 どなたでも ※お子さまはご遠慮ください
参加費:500円

申込方法 TEL・Eメール・HP

問合せ▶ TEL/050-3748-8781

Eメール sm59005@yahoo.co.jp

⑩大阪市ファミリー・サポート・センター 提供会員養成講座

クレオ大阪子育て館

<https://creo-osaka.or.jp/north>

子どもの事故防止、心の発達など大阪市ファミリー・サポート・センター提供会員として必要な知識を学びます。地域で子育てのお手伝いをしませんか?

日程 1/20・27、2/3・10・20、3/3 各月曜日(2/20のみ(木)) 全6回
10:30～16:15(日により異なる)

場所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」駅3番出口から連絡
JR「天満」駅から北へ徒歩約10分

人数・条件 大阪市在住で19歳以上の方・提供会員として登録する意思のある方
定員:30人(多数抽選) 参加費:無料
※一時保育有(無料・定員有・要事前申込1/10(金)締切) 対象:3か月～小学校3年生

申込方法 電話・FAX・HP・来所 締切:1/10(金)

問合せ▶ 〒530-0041 北区天神橋6-4-20 7階

TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277

⑪傾聴ボランティア養成講座 ～人のところに寄り添うボランティア～

平野区ボランティア・市民活動センター

<http://hirano-kushakyo.or.jp>

傾聴ってなに?と思っている方、傾聴のことをもっと知りたいと思っている方、一緒に学びませんか?

日程 1/17・24・31 各金曜日 各日14:00～16:00

場所 コミュニティプラザ平野(平野区民センター)
(平野区長吉出戸5-3-58)
地下鉄「出戸」駅4番出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 定員:30人 参加費:無料

申込方法 TEL・FAX 締切:1/15(水)

問合せ▶ TEL/06-6795-2200 FAX/06-6795-2929

Eメール nico-nico.c@3swab.ne.jp

⑫おしゃべりカフェ

特定非営利活動法人 kunこころの宮

<http://kun-kokoronomiya.org>

誰もが集えるコミュニケーションの場。みんなでワイワイおしゃべりしましょう。

日程 毎月第4土曜日13:00～16:00 ※時間内出入り自由

場所 新谷町第一ビル306(中央区谷町7-2-2)
地下鉄「谷町六丁目」駅

人数・条件 どなたでも 参加費:500円(お茶とお菓子付)

申込方法 電話・HP(先着順)

問合せ▶ 〒542-0012 中央区谷町7-2-2 新谷第一ビル306

TEL/06-6777-6156 Eメール info@kun-kokoronomiya.org

⑤大阪城公園近辺 クリーンUP ボランティア募集

城見緑道公園愛護会

<https://shiromi.hp.peraichi.com/cleanup>

大阪城近辺の清掃ボランティア、ふれあい花壇ボランティアに参加いただける方を募集します。20代から80代まで幅広い年代のメンバーで活動しています。会の活動内容の企画や運営と一緒にやってみたい方も大歓迎です。

日程 毎週土曜日 9:00～10:00(雨天中止)
※参加可能な日にいつでも気軽にご参加ください!

場所 大阪ビジネスパーク 開発の碑(中央区城見1-1)
地下鉄「大阪ビジネスパーク」駅3番出口から徒歩4分
JR「大阪城北詰」駅から徒歩6分
京阪電車「京橋」駅から徒歩10～15分

人数・条件 どなたでも 動きやすい服装でご参加ください

申込方法 申込不要

問合せ▶ Eメール shiromi.aigokai@gmail.com

⑥機関紙「あるる箱」発送作業のお手伝い

特定非営利活動法人あるる

<https://www.npo-aruru.com/>

発送作業をご一緒にしませんか?A3用紙に印刷したものを半分に折り、それを差し込んで冊子にしていきます。おしゃべりしながら和気あいあいと行います。

日程 1/15(水)～1/17(金)、1/20(月)・1/21(火)
各日11:00～15:00(1時間だけでもOK)

場所 ベルエキップ・オگران(都島区中野町3-4-21 1階)
地下鉄「都島」駅2番出口から徒歩10分
JR「桜ノ宮」駅東口から徒歩10分

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話・FAX・Eメール 締切:1/20(月)

問合せ▶ TEL/06-6355-3701 FAX/06-6355-3702

Eメール cilaruru@npoaruru.com (担当:宇治田)

⑦ミュージアムボランティア募集

キッズプラザ大阪

<https://www.kidsplaza.or.jp/>

自分も子どもも笑顔になれる場所で、はじめよう!ボランティア活動

活動期間 2025/4/1(火)～2026/3/31(火)(月に2回以上) 9:30～17:15

場所 キッズプラザ大阪(北区扇町2-1-7)
地下鉄「扇町」駅2番出口すぐ
JR「天満」駅 西へ徒歩3分

人数・条件 18歳以上(高校生不可)の子どもが好きの方 定員:100人
※詳細はHP参照
交通費:1日上限2,000円、活動費:1日1,000円

申込方法 HP 締切:1/31(金)

問合せ▶ TEL/06-6311-6603 FAX/06-6311-6605

Eメール kpo-boshu@kidsplaza.or.jp (担当:窪田)

⑧ウォーキングフットボール OSAKA ～歩くサッカーで健康に笑おう!～

Walking Football Osaka

Instagram(Walking Football OSAKA)

高齢者福祉従事者が中心に、歩くサッカーで健康増進。ぶつかったり、強く蹴ったりしないので、誰もが一緒に楽しめる、笑う回数が多い生涯スポーツです。

日程 開催日はInstagramにて随時発信

場所 ①HOS 住吉スポーツセンター(住吉区浅香1-8-15)
地下鉄「我孫子」駅、地下鉄「長居」駅下車
②フットサルパーク長居(東住吉区長居公園1-1)
JR「杉本町」駅、「長居」駅下車

人数・条件 どなたでも 年齢や性別、サッカー経験や障がい(要相談)の有無に関わらず参加いただけます。こども、ファミリーも歓迎。
定員:20人 参加費:500円

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール tehi11@yahoo.co.jp

⑪ “しせつ”で暮らすこどもと週末里親

東住吉区社会福祉協議会

<https://sawayaka-c.ne.jp>

明日の社会を創るこどもたちのために。週末里親や施設で暮らすこどもたちについて話を聴いてみませんか。

日程 2/8(土) 各日10:00～12:00

場所 東住吉区社会福祉協議会 3階会議室(さわやかセンター)
(東住吉区田辺2-10-18)
地下鉄「田辺」駅から徒歩5分
JR「南田辺」駅から徒歩10分

人数・条件 どなたでも 定員15人(先着順) 参加費:無料
※一時保育あり(要予約)

申込方法 TEL・Eメール・来所 申込開始:1/14(火)

問合せ ▶ 〒546-0031 東住吉区田辺2-10-18(さわやかセンター)

TEL/06-6622-6611 FAX/06-6622-8973

Eメール tikatu3@sawayaka-c.ne.jp

⑫ 伊丹昌一先生講演会「愛着障害の理解と支援」

つぼみの会・なぎtime/天王寺区社会福祉協議会

愛着障害は後天的な障害です。今回は「愛着」の課題に視点を合わせ、生きづらさを和らげる支援について学びましょう。

日程 3/8(土) 各日14:00～17:00

場所 天王寺区民センター 1階ホール(天王寺区生玉寺町7-57)
地下鉄「四天王寺前」陽丘駅2番出口から徒歩2分

人数・条件 どなたでも 定員150人 参加費:無料

申込方法 TEL・FAX・Eメール 締切:2/22(土)

問合せ ▶ 天王寺区社会福祉協議会

TEL/06-6774-3377 FAX/06-6774-3399

つぼみの会なぎtime

Eメール b5430053@yahoo.co.jp

⑬ 令和7(2025)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成

一般財団法人 ハウジングアンドコミュニティ財団

<http://www.hc-zaidan.or.jp/program.html>

今日の住まいとコミュニティに関する多様な社会的課題に対応するため、「コミュニティ活動助成」と「住まい活動助成」の二本立てとし、それぞれに対して助成を行います。

助成対象 営利を目的としない民間団体(特定非営利活動法人、法人化されていない任意団体など) ※詳しくはHPを参照

助成金額 1件あたり120万円以内

応募方法 HPから応募要項・申請書をダウンロードして、必要事項を確認・記入のうえ、提出書類を添付して郵送 ※詳しくはHPを参照

応募締切 2025/1/10(金) 必着

問合せ ▶ 一般財団法人 ハウジングアンドコミュニティ財団(助成係)

〒105-0014 東京都港区芝2-31-19 バンザイビル7階

TEL/03-6453-9213 FAX/03-6453-9214

情報 求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どうぞお寄せください。



申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌[COMVO]編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当: 泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。

(例: 2025年3月15日発行号(4月号)に掲載希望の場合は2025年1月末まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

⑭ 令和6年度 こころに寄り添う はじめての傾聴ボランティア養成講座

大阪市西区社会福祉協議会

<https://nishi-fukushi.or.jp>

高齢者に寄り添う傾聴ボランティアの活動をしてみませんか? 傾聴を学び、高齢者施設で実習をします。講師: いまなつゆか氏(心理スペース「ぼれぼれ」主宰)

日程 2/6・13・27 各木曜日 各日14:00～16:00

場所 西区社会福祉協議会(西区新町4-5-14 西区役所合同庁舎6階)
地下鉄「西長堀」駅A4出口すぐ
大阪シティバス「地下鉄 西長堀」下車すぐ

人数・条件 西区内の個人宅や施設で傾聴ボランティアとして活動できる方
全日程参加できる方が優先
定員: 20人(多数抽選) 参加費: 無料

申込方法 TEL・来所 申込期間: 1/7(火)～1/30(木)

問合せ ▶ 〒550-0013 西区新町4-5-14 西区役所合同庁舎 6階

TEL/06-6539-8075

⑮ [Web視聴] 自立支援セミナー ～発達に課題がある子どもの家族サポート～

YMCA総合教育センター

<https://peatix.com/event/4029909>

多様性の時代。保護者との連携においても個々に合ったサポートが望まれます。“保護者を支えるかかわり方”をテーマにお話しいただきます。

日程 2/1(土) 10:00～2/16(日) 24:00

場所 Web視聴

人数・条件 どなたでも 参加費: 3,000円

申込方法 Eメール・HP 締切: 1/19(日)

問合せ ▶ TEL/06-6441-0988 FAX/06-6443-7544

Eメール soudan@osakaymca.org

⑯ 週末里親説明会～ばくとしせつとときどきおでかけ～

一般社団法人

大阪市児童福祉施設連盟 里親支援委員会

里親支援専門相談員が、週末里親についてわかりやすく説明します。また、実際に週末里親として活動しておられる方の体験談もあります。

日程 2/8(土) 13:30～15:30

場所 海の子学園 入舟寮(港区池島3-7-18)
地下鉄「朝潮橋」駅4番出口から徒歩約10分

人数・条件 どなたでも 定員: 20人(多数抽選) 参加費: 無料

申込方法 TEL・FAX・Eメール 締切: 1/29(水)

問合せ ▶ TEL/06-6699-7243 FAX/06-6699-7243

Eメール holyfamily@luck.ocn.ne.jp

⑰ 天体観測会「火星、土星、木星、金星を見よう」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

見る惑星が多くて楽しい季節です。本格的な天体望遠鏡で星を見ます。

日程 1/18(土) 18:30～20:00

場所 浅香中央公園 中央の広場(住吉区浅香1-6)
地下鉄「あびこ」駅4番出口から徒歩8分
JR「杉本町」駅から徒歩8分

人数・条件 どなたでも 参加費: 無料

申込方法 申込不要

問合せ ▶ Eメール k337yjunamg@gmail.com

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリアルタイムでお届けします。

ECO(環境)・ネット(つながる)・よどがわ(地域)

NPO法人 ECOネットよどがわ

地球温暖化は、私たちの予想を超え急激に進行しています。命を脅かす事態です。

私たち一人ひとり何をしたらいいのだろう、「じぶんごと」として考えざるをえません。

当団体の名前にも、＜環境で、つながる、地域＞と、その想いを込めています。“環境とまちづくりで再生可能エネルギー100%をめざそう!”をテーマに活動をしています。

去年は、講演学習交流会では、講師を招き「再生可能エネルギーをいかに広げるか」「先進環境都市ドイツに学ぶ研修ツアーに参加して」「自転車と環境」をテーマにそれぞれ学びました。スタディツアーは、「大阪府の森林を学ぼう」「若狭にくらす人々から学ぶエコツアー」を実施、現地から学びました。また地元地域の方々と協力して、防災ワークショップに参加し、エネルギーの地産地消の実践展示をしました。恒例の〇

<https://www.facebook.com/econetyodogawa/>

Mエコハウスの見学会や三田黒大豆枝豆植え付け・収穫体験も好評です。パワーシフトを勧めており、『TERA Energy株式会社』のほっと資産の寄付先に登録されています。さまざまな先進地域から学び、交流し、活動につなげる、そんな場づくりをこれからも作っていきます。催事案内はFBでもしています。みなさまと一緒にいかがですか。



小型発電ソーラー機器などを使って、再生可能エネルギーを啓発!

②1 2024年度 近畿ろうきんNPOアワード

近畿労働金庫

https://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/

子どもや子育てに関わる支援など「未来に活かす」多彩なプログラムをすすめるNPO法人やボランティア団体の事業に助成します。

助成対象 ①子どもの成長を応援する事業 ②子育て環境を整える事業

※詳細はHP参照

応募対象 近畿2府4県に主たる事務所を置き、非営利の市民活動・ボランティア活動を行うNPO法人、労働者協同組合、一般社団法人(非営利型)、法人格のない任意団体

助成金額 〈50万円コース〉3〜4団体 〈10万円コース〉3〜5団体

応募方法 HPから申請書をダウンロードして必要事項を記入のうえ、提出書類を添付して郵送

※詳細はHP参照

応募締切 2025/1/31(金) 必着

問合せ▶ 近畿労働金庫 地域共生推進室 〒550-8538 西区江戸堀1-12-1
TEL/06-6449-0842 FAX/06-6449-1414 (担当: 三田、森下)

②0 2024(令和6)年度 社会貢献基金助成

一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団 <https://ceremony-culture.jp/>

一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会 <https://www.zengokyo.or.jp/social/fund/>

地域の社会福祉事業、環境保全事業など社会貢献活動を行う各種団体等への助成及び社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成を行います。

助成対象事業 (1)研究助成事業 (2)冠婚葬祭承継事業 (3)高齢者福祉事業
(4)障がい者福祉事業 (5)児童福祉事業 (6)環境・文化財保全事業
(7)地域つながり事業

助成金額 助成対象事業(1)及び(2)
総額300万円(上限1件あたり50万円) ※詳細はHPを参照
助成対象事業(3)〜(7)
総額1,000万円(上限1件あたり200万円) ※詳細はHPを参照

応募方法 対象事業により応募先が異なる為、詳細はHPを参照

応募締切 2025/1/31(金) 必着

問合せ▶ 助成対象事業(1)及び(2)
一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団(社会貢献基金助成 運営事務局) TEL/03-6273-3930
助成対象事業(3)〜(7)
一般社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会(社会貢献基金助成 運営事務局) TEL/03-3596-0061

オリジナルサコッシュをプレゼント!!

いつも情報誌『COMVO』をご愛読いただきありがとうございます。

P.14上段の読者アンケートにご協力いただいた皆さまの中から抽選で毎号3人に、『COMVO』オリジナルサコッシュをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、FAX、EメールまたはQRコードからお送りください(P.14参照)

両面ポケット付き!!
肩がけで便利に使える
小型バッグ

縦220×横170mm



学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.47

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

新たな一歩を踏み出す大切さ

私は、大学で教育について勉強しています。その中で座学だけでなく、実際に色々な校種の子どもと関わりたいと思うようになりました。そのような機会がある場所

を探し始め、出会ったところが今所属している『みんなで学ぶ教室』です。

『みんなで学ぶ教室』では、貧困や不登校などの課題を抱えた中学生を対象に、大学生が無償で学習支援を行う活動を行っています。家庭の事情で塾に通えない生徒に対して最終的に高校に進学できるようにとの願いをこめて活動をしています。学習支援以外にも、七夕、ハロウィン、クリスマスなどのイベントも行い、そこではゲームやクイズなどを行ったりしています。

私は新しい環境に対して慣れ



教室では、中学生とマン・ツー・マンで向き合います



大阪教育大学
教育学部
椎野 睦代

プロフィール

所属団体：(一社)天王寺堂ヶ芝学習館 みんなで学ぶ教室
趣味：旅行、美味しいものを食べること
学年：4年生

ることが遅いため、当初不安が大きかったです。しかしながら、参加するにつれて周りの大学生や、代表のアットホームさから、私自身がエネルギーをもらえる場所になっていました。また、中学生に勉強を教える中で伝え方や、コミュニケーションの方法を考える機会が多くあり、将来教員になりたいと思うきっかけの一つになりました。新たなコミュニティに入るとは、最初緊張するかもしれませんが、「やらないよりやってみる」とが大事だ」と『みんなで学ぶ教室』のボランティアに参加して強く思いました。

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXがハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO293号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2025(令和7)年1月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



編集後記

暦よりひと足早く、今号の『COMVO』は2025年1・2月合併号となりました。

振り返ってみると、あっという間に過ぎた2024年。多くのボランティア・市民活動団体の皆さまから話を伺い、楽しく、前向きに活動に取り組まれる姿にふれるとともに、たくさんの学びを得た一年でもありました。また、多くの若い世代の人たちとも出会うことができ、これからの時代に向けての夢や希望をいただきました！

さて、皆さまにとってはどんな一年だったでしょうか？そして来年は、飛躍？挑戦？成熟？…どんな一年をめざしますか？

次号の『COMVO』は、来年の2月15日発行です。皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。



ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集！

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載！市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)
- 申込方法
下記まで問合せください

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。
それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間：午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日：日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日：2024年12月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数：40,000部 ●制作協力：商工印刷株式会社 ●点訳協力：NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

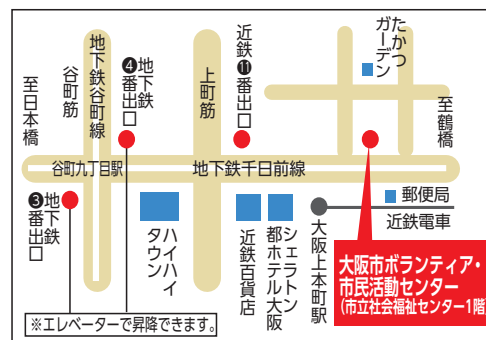
●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています

お知らせ

情報誌COMVOは年10回の発行です。
次回は令和7年2月15日発行になります。
(令和7年1月15日は休刊です)COMVO編集室

「COMVO」主な設置・配布場所

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪府役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商工会連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など
※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。



森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668